は課題も多いが、当事者に寄り添う有意義な事業だ。

議員　市内に地域がん診療連携拠点病院を増やす必要があると考える。関係機関への市の働きかけを伺う。

保健医療担当部長　増設を要望する予定はないが、拠点病院の機能等について、引き続き周知に努めたい。

三鷹市の将来に向けた活力あるまちづくりを

自由民主クラブ　伊藤　俊明　議員

議員　内政上の危機とその対応等を示した「自治体戦略2040構想研究会」の報告書を踏まえた本市の将来構想について伺う。

市長　土地利用、コミュニティ、市民の学びと人財の活用、行政サービスのあり方が将来課題と認識している。民学産公の協働の結集に努め、三鷹市基本構想に掲げる人間のあすへのまちを展望していきたい。

議員　東京2020オリンピック・パラリンピックに係る地域連携組織に期待する役割と具体的な取り組みについて所見を伺う。

市長　事業を実施する際の情報共有や連絡調整を担い、感動体験の創出や健康増進、障がい者理解等に取り組んでいきたい。

議員　本市の聖火リレーに係る東京都等への意見の発信とボランティア募集の取り組みについて伺う。

市長　聖火リレーは市民にとって一体感を感じられる重要なものであるため、東京都等へ積極的に働きかけていく。ボランティア募集については、市民への正確な情報提供に努め、積極的に応募してもらえるよう取り組んでいきたい。

議員　オリンピック・パラリンピック教育において最も重視すべき点とこれまでの成果等について伺う。

教育長　オリンピック精神を学び、世界平和の祭典として歩んできた歴史を考えることが、最も重要なことだ。成果としては、スポーツ志向、国際理解、障がい者理解等が挙げられる。今後は、関係機関と連携し、機運醸成の取り組みをより一層推進していきたい。

ICTの時代における家庭教育の重要性を問う

自由民主クラブ　吉野　和之　議員

議員　核家族化の進行、地域のつながりの希薄化、ICT社会の進展、児童虐待の増加など、子どもを取り巻く環境が年々厳しくなっている。文部科学省に設置された「家庭教育支援の推進に関する検討委員会」が平成24年3月にまとめた報告書の意義について伺う。

市長　目指すべき子ども像の実現には家庭教育が重要な力であり、家庭教育を担う家庭を支える環境を整備することが、基礎自治体の役割の一つであることを本報告書で再確認している。

議員　本報告書には、誕生から自立まで切れ目のない支援が家庭教育には必要だと書かれている。現状、本市では子ども政策部、教育委員会と所管が分かれているが、家庭教育という視点から施策を見直す必要があると考える。見解を伺う。

市長　今後も全ての子どもが、家庭・地域・学校で日常生活を送りながら、多様な経験、体験を通して、健やかに成長できる地域づくりに向けて、関係部署、教育委員会と連携していきたい。

議員　道徳教育の教科化は学校教育と家庭教育を結びつける良い機会だと考える。コミュニティ・スクールの観点から学校教育と家庭教育の連携について伺う。

教育長　本市は家庭・地域・学校が道徳教育について共通理解を深め、意見交換を図る場を設けるなど、連携して取り組んでいる。今後もコミュニティ・スクールの機能を有効に活用して、学校教育と家庭教育の連携を更に推進していきたい。

〈その他の質問〉　多世代交流について

高齢者が健康で充実した生活を送れるための施策を

公明党　赤松　大一　議員

議員　高齢者肺炎球菌ワクチン接種は高齢者の肺炎予防、健康長寿の延伸、医療費削減に非常に有効なものと考える。未接種者の救済措置について所見を伺う。

市長　国の法改正等により行われる制度変更への対応を含め、情報収集に努め、適宜適切に対応したい。

議員　後期高齢者健康診査は生活習慣病を早期に発見し、治療につなげ、重症化を予防する。健診受診率向上のため、近隣市との健診の相互乗り入れが有効なものと考える。所見を伺う。

市長　自治体ごとに検査項目や健診単価が異なるため、現時点では近隣市との相互乗り入れは困難だが、重要な検討課題の一つとして取り組んでいきたい。

近隣市での状況等を参考にしながら、検討していく。

大規模自然災害に備えて防災・減災対策を強化せよ

公明党　大倉　あき子　議員

議員　本年6月の大阪北部地震では、ブロック塀が倒壊して少女が犠牲となった。改めて通学路の安全確保のための調査が必要だ。

教育長　今回の地震も踏まえ、防犯、交通安全に加え、防災の観点を強化し、通学路の点検と危険箇所の把握を行っている。今後はこの調査を基に改善方法等を協議し、安全確保に努める。

議員　ゲリラ豪雨対策による浸水被害の防止のため、住民が必要な時に自由に土のうを持っていくことができる「土のうステーション」を設置してはどうか。

都市整備部調整担当長　有効性のある対策だが、設置箇所や管理運営体制等の課題がある。他自治体を参考にして研究していきたい。

議員　学校体育館は災害時には避難所となる。また、部活動等も行うため、エアコンを設置するなど、児童・生徒を熱中症から守る対策が必要だ。所見を伺う。

市長　学校体育館へのエアコン設置には、大規模工事と維持管理費等の財源確保の課題がある。そこで全国市長会から国に対し、空調設備設置等の予算確保を求める緊急要望をしている。

議員　液体ミルクは湯で溶かす必要もなくすぐ飲めるため、災害時にも有効とされ、被災者からも喜ばれたと聞く。本市でも災害用備蓄品として活用すべきだ。

総務部危機管理担当部長　厚生労働省の想定では、液体ミルクの賞味期限は6～12カ月程度とされており、備蓄するには短い。現段階では慎重に見極めたい。

誰一人置き去りにしない施策の拡充を求める

公明党　粕谷　稔　議員

議員　制度のはざまで苦しむ市民を出さないような施策の拡充が必要だ。従来の調査対象でない中高年の引きこもりの実態把握と課題解消にどう取り組むか。

市長　生活・就労支援窓口で相談を受け把握している。今後も関係機関と連携し引きこもりの発見につなげ、適切な支援を図りたい。

議員　親の介護等をきっかけに心身を病み、長期間働けず、求職活動もしないため、雇用統計上の失業者にならない、いわゆるミッシングワーカーへの支援が必要だ。親の介護等により離職した市民の調査や相談窓口の設置等が急務だ。

市長　調査の実施は現状考えていないが、生活・就労支援窓口を中心として、日々の相談業務の中で支援を行っている。今後も相談しやすい環境を整備したい。

議員　親亡き後を見据えた知的障がい者の自立への支援や居場所について伺う。

生活・就労支援窓口

市長　通所施設やグループホーム等を利用してもらっており、それら施設で自立に向けた準備と訓練を進めることで、親亡き後の選択肢も広がると考える。

議員　本市にもLGBT当事者がおり、支援施策の拡充が望まれる。LGBT支援のためのトイレ、更衣室の改修について伺う。

市長　性別にかかわらず利用できる多目的トイレ等を整備していきたい。また、国や都の動向を踏まえ、適切な取り組みを検討したい。

〈その他の質問〉　空き家について／ICT、SNSの活用について

市民が安全安心に暮らせる環境整備の取り組みを進めよ

民主緑風会　髙谷　真一朗　議員

議員　小学校区ごとに危険箇所を認識できる「地域安全マップ」や第五小学校地区の「こうううあんぜんマップ」の注意喚起の記載は、毎年同じような内容が散見される。地域からの情報提供を受け危険箇所の改善を図ることは、市民と行政との信頼関係にもつながると考える。市民の声を反映した改善の取り組みを伺う。

地域安全マップ

市長　街路灯や公園内の電球切れの修理、放置自転車の処理、カーブミラーの改善等を実施している。市だけでは対応困難な案件もあるが、今後とも意見・要望の解決に努めていきたい。

議員　大阪北部地震では、小学校のブロック塀倒壊により死亡事故が発生した。公共施設に加え民間所有のブロック塀の安全性も課題だ。ブロック塀の生け垣への改修だけではなく、フェンス等への改修にも助成を検討すべきだ。また、市はもとより国や都が主体的に取り組むよう働きかけるべきと考える。所見を伺う。

都市整備部調整担当部長　生け垣助成制度はフェンス改修も可能な利便性の高い制度となるように検討したい。また、国の検討も始まっ